

第1章

計画策定にあたって



1 計画の概要

1 計画の目的

本町は、平成15年1月に「人と人がつなぐ未来への架け橋」を町の将来像とする第4次西ノ島町総合振興計画を策定し、将来像実現に向けた施策を展開してきました。

この間、漁業・農林業・観光業といった基幹産業の活性化、高齢者福祉・子育て支援の充実、定住促進策による移住者の増加等、各分野で多くの成果を上げてきました。しかし、少子高齢化の更なる進行により、基幹産業においても後継者不足等の課題が残されています。

国内全体の社会情勢に目を転じれば、国家規模での人口減少、グローバル化の進展、ライフスタイルの多様化、高度情報化社会の進展等、これまでに経験したことのない大きな変化が生まれています。特に、平成23年3月に発生した東日本大震災では、東日本を中心に未曾有の大被害をもたらし、防災・エネルギーに対する考え方の抜本的な見直しが迫られています。

「第5次西ノ島町総合振興計画」は、これまでの取り組み成果を踏まえつつ、このような社会情勢の変化や新たな町民のニーズを踏まえたうえで、本町の目指す姿やその実現に必要な施策を明らかにし、新たな町政運営の指針として定めるものです。

2 計画の対象期間

計画期間は、平成25年度(2013年度)を初年度とし、平成34年度(2022年度)を目標年度とする10年間です。

3 計画の構成

第5次西ノ島町総合振興計画は、4つの章と資料編から構成されています。各章の位置づけは、以下のようになっています。

第1章 計画策定にあたって (p1～)

計画の目的、西ノ島町の現状を整理しています。

第2章 基本構想 ～人の集う島へ～ (p7～)

本町の目指す姿と目指す理由、その実現に向けた基本方針を整理しています。また、目標人口や、計画の全体像も整理しています。

第3章 基幹プロジェクト (p14～)

基本施策(次章参照)のうち、特に重点的に取り組む事項とその理由を整理しています。

第4章 基本施策 (p30～)

目指す姿の実現に向け、今後10年で本町が取り組む施策を整理しています。基幹プロジェクトに該当する施策については、★がついています。

資料編 (p82～)

計画策定にあたり実施した住民アンケート結果や、策定体系、策定に携わった方々の名簿、用語解説を整理しています。

2 西ノ島町の現状

1 地勢

本町は、島根県の島根半島沖合（日本海西部）に浮かぶ隠岐諸島のうち島前地区に位置し、町名と同じ「西ノ島」一島で一町を形成しています。人口・面積ともに、隠岐諸島で隠岐の島町に次ぐ2番目に大きな町です。

その地形の大部分は、火山島特有の急峻かつ高低起伏の激しい山地丘陵によって占められています。また、島の東西を走る200mから300mの山脈により、内海側と外海側とに分かれています。

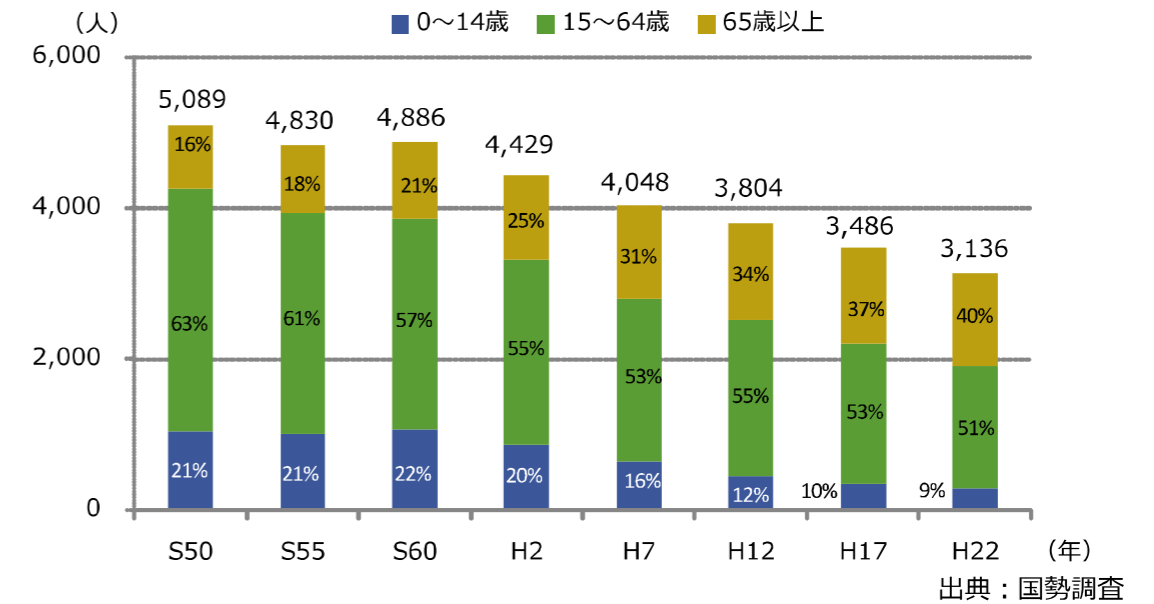
内海側には、西ノ島・中ノ島（海士町）・知夫里島（知夫村）に囲まれた穏やかで広々とした内海湾を抱き、海岸は屈曲に富んだ天然の良港に恵まれています。また、集落はこれら港に面して14地区が点在しています。

外海側は、西北岸に集落が1地区あるほかは延々37kmに及ぶ海蝕断崖の連続で、海岸には奇岩怪礁が男性的な景観を呈し、特に国賀海岸は隠岐諸島の観光の代表的景観として知られています。



2 人口

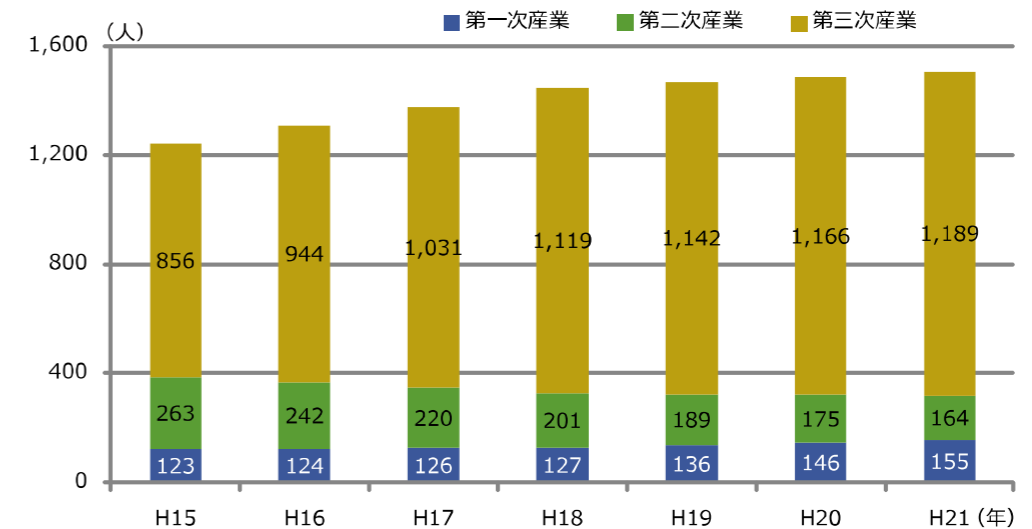
西ノ島町の人口は、昭和25年をピーク（7,463人）に減少を続け、平成22年にはピーク時の半数以下の3,136人となりました。高齢者（65歳以上）割合が増加を続けており、平成22年には全体の40%となっています。



3 産業構造

西ノ島町で最も就業者数が多いのは第三次産業で、医療福祉業（26%）、卸売・小売業（16%）、宿泊・飲食業（10%）で全体の半数を占めています。

本町の就業者数は全体的に増加しており、特に医療福祉業の伸びが顕著です。また、水産業もUIターンの雇用により就業者数が漸増しています。

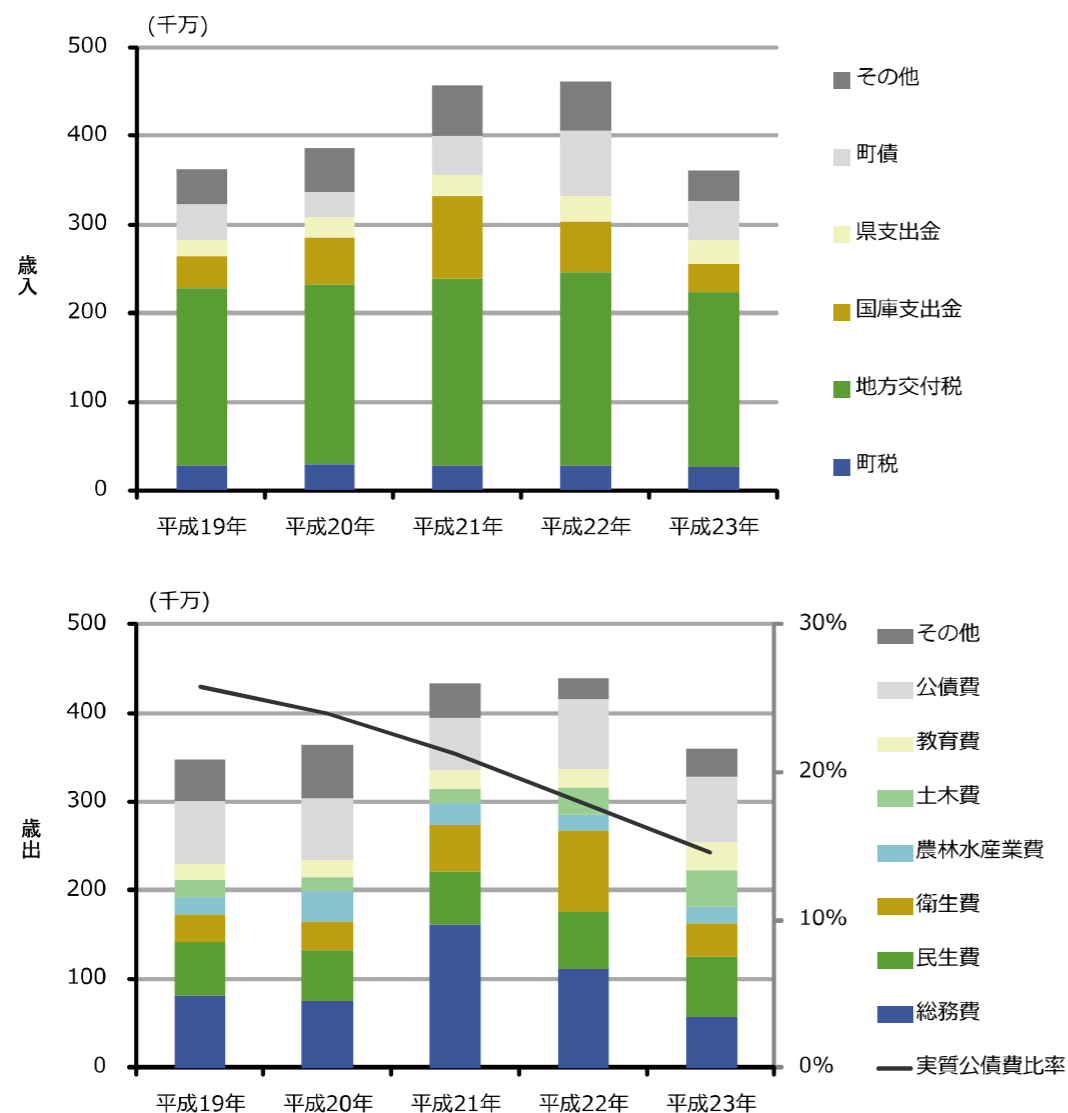


出典：H15・H18 総務省統計局「事業所・企業統計調査報告」、
H21 総務省統計局「平成21年経済センサス-基礎調査」に基づき作成

3 財政状況

本町の財政は、その多くを地方交付税や国・県の補助金等に依存しています。これまで、数次にわたって行財政改革（人件費の削減、民間委託の推進、使用料等の改定、遊休資産の処分、地方債の繰上償還等）を実施してきました。これにより財政状況は改善傾向にあり、平成23年度の実質公債費比率は14.6%と、早期健全化団体の基準を下回っています。

しかし、自主財源の乏しい財政構造には変わりなく、今後も計画的な財政運営に努める必要があります。



出典：西ノ島町決算書

用語解説

実質公債費比率（じっしつこうさいひりつ） 早期健全化団体（そうきけんぜんかだんたい）

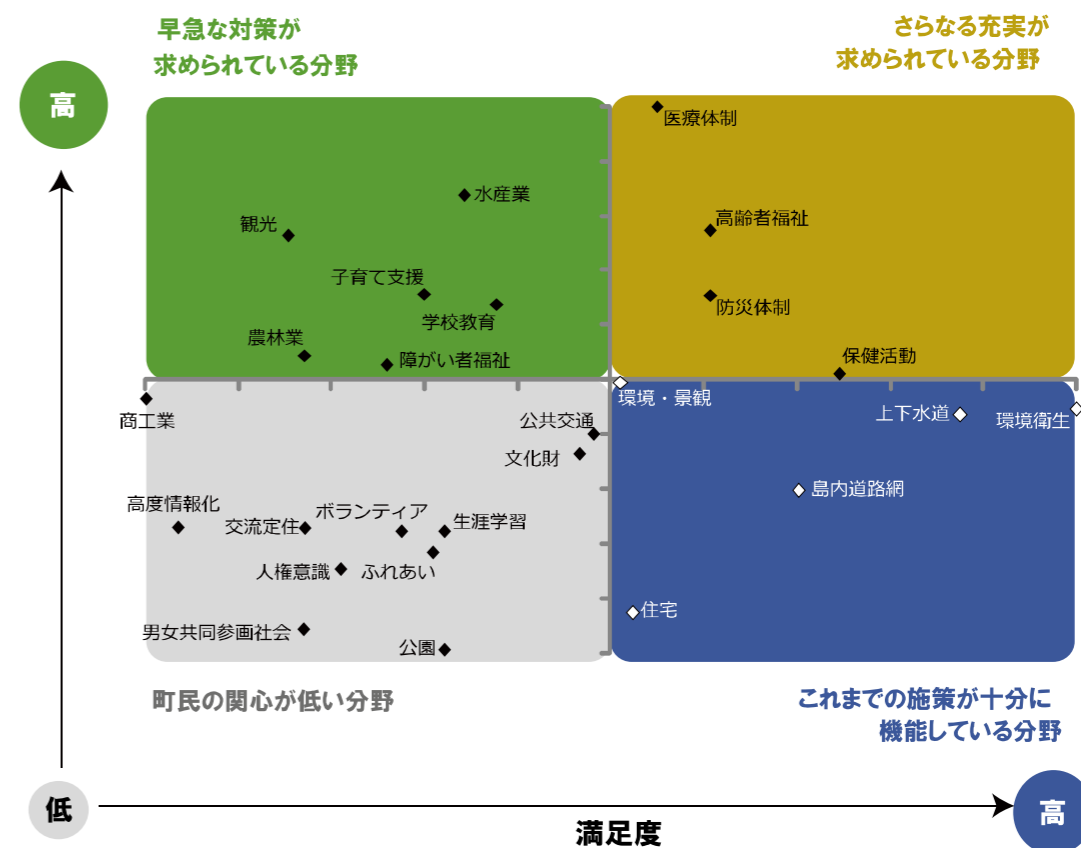
4 アンケートによる町民の重要度・満足度

第5次西ノ島町総合振興計画の策定にあたり実施した町民アンケートの結果に基づき、現状に対する町民の重要度・満足度を分析しました。

「産業分野」「子育て分野」等は、重要度が高いものの満足度は低く、早急な対策が求められていることがうかがえます。

「医療分野」「福祉分野」等は、重要度・満足度ともに高く、更なる充実が求められていることがうかがえます。

「インフラ分野」は、重要度が低い一方で満足度は高く、これまでの施策が十分に機能していることがうかがえます。その他の分野は、重要度・満足度ともに低く、町民の関心は低いことがうかがえます。



注：町民アンケートにおいて、満足度・重要度が最も高かった項目を100、最も低かった項目を0とし、その相対値に基づいてグラフ化。

用語解説

インフラ